

代表質問事項一覧

3月 9日（月）

質問者	質問方式	質問概要
高田（新風会・公明）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 大野市総合計画について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第五次大野市総合計画の最終年として計画に掲げた目標数値に対する達成見込みを伺う。</li> <li>○ 第六次大野市総合計画策定に向けたスケジュールと審議会での議論の状況を伺う。</li> <li>○ 第六次大野市総合計画にSDGsの視点を盛り込むとは、どのような考えなのか。またSDGs自体の浸透策、取組状況を伺う。</li> </ul>
		<p><b>2 令和2年度当初予算について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 当初予算の策定に当たり、重要視した点を伺う。</li> <li>○ 当初予算において新規事業等への予算付けと健全財政の堅持の両立は図られているのか伺う。</li> <li>○ 起債と償還に対する基本的な考え方と、将来的な見通しを伺う。</li> </ul>
		<p><b>3 新型コロナウイルスについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2月28日に新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げたとのことだが、現況が毎日のように変化中、現在どのように対策本部を動かしているのか。</li> <li>○ 感染が疑われる患者が発生した場合の対策について伺う。</li> <li>○ 新型コロナウイルス感染症の拡大による、観光や産業への影響の最新情勢と具体的な支援策について伺う。また経済産業省が打ち出した経済支援策について分かりやすく説明を求める。</li> <li>○ 突然の臨時休校による小中学校の今後の対応を伺う。</li> </ul>
		<p><b>4 小中学校再編計画の見直しについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昨年に41回の意見交換会が設けられたが、その取りまとめ結果を伺う。</li> <li>○ 小学校及び中学校のそれぞれの課題をどのように捉え、見直しにつなげていくのか伺う。</li> <li>○ 校数、時期、方法の3項目以外で現計画に書かれている部分の議論が必要ではないか。特に、地域の核としての公民館の在り方など、市長部局と連携した議論が必要ではないかと考えるが所見を伺う。</li> </ul>

質問者	質問方式	質問概要
高田（新風会・公明）	一括質問・答弁方式	<p><b>5 地下水の復活と健全な水循環に向けて</b></p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市長の「地下水」に対する概念と市民の命の水、地域の宝である地下水を「市民共有の財産」と位置付ける大野市にとって10年後、20年後をどのように描いているのか伺う。</li> <li>○ 全国でも数少ない地域特有の地下水の持続可能な保全と利用の調和に対するマネジメントをどのようにしていくのか伺う。</li> <li>○ 泉町の家々には泉水があり、かつてはあちらこちらから水が湧いていた。このような状況が回復されることが、健全な水循環につながり、「地下水」のブランド価値を高めることになる。そこで湧水を復活させることに対してどのような対策を取っていくのか伺う。</li> </ul>
		<p><b>6 環境対策について</b></p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境基本計画の見直し状況とSDGsの視点をどのように取り入れるのか伺う。</li> <li>○ 現在のゴミ減量目標や本年7月からのレジ袋有料化等の市民への啓発はどのように行うのか伺う。</li> </ul>
		<p><b>7 地域経済対策について</b></p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大野市内の経済状況をどう捉えているのか。消費税増税や暖冬等の異常気象に対して大野市内の経済状況をどのように捉えているのか伺う。</li> <li>○ 金融機関との連携状況、資金循環の仕組み構築に向けた取り組みはどのようなになっているのか伺う。</li> </ul>
		<p><b>8 交流人口と関係人口について</b></p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 越前おおのブランド戦略に掲げる、観光消費額増加に向けた取組状況はどうか伺う。</li> <li>○ 観光がもたらす効果をどのように考えるか伺う。</li> <li>○ 県の福井観光ビジョンとの連携はどのように考えるか伺う。</li> </ul>

質問者	質問方式	質問概要
高田（新風会・公明）	一括質問・答弁方式	<p><b>9 大野へかえろう・Uターン施策について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大野への愛着・帰着の心を育てるため、独自の大学生向け奨学金制度の新規受付廃止に替わる取り組みなど、次の段階への展開を伺う。</li> <li>○ ふるさと教育として、小中学校や高校との連携を教育委員会としてはどのように考え、行っているのか伺う。</li> <li>○ 地元企業の担い手である職業系高校への進学希望者が減っているが、働く場や事業承継、企業誘致活動と結び付く高校と企業の連携を伺う。</li> </ul>
		<p><b>10 防災対策について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今シーズンの暖冬による水不足が懸念されるが、対策を伺う。</li> <li>○ 頻発する災害への不安増大解消にどのように対処していくのか伺う。</li> <li>○ 大野市総合防災マップ改訂スケジュールと、改訂に係る市民の関わりはどのように行っていくのか。また高齢化が進む中で市民ができる自助、地域で支え合う共助の推進をどのように図っていくのか伺う。</li> <li>○ 阪神淡路大震災から25年、東日本大震災から9年等で省みられる、災害時の犯罪に関する認識と対策を伺う。</li> </ul>

質問者	質問方式	質問概要
川端（清風会）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 新年度において特に重点的に取り組む施策について</b></p>
		<p>○ 「大野市高速交通アクションプログラム」の推進と「健康のまちづくり」の実践について、令和元年度における取組状況と成果、そして令和2年度の取組予定について尋ねる。</p> <p>○ 今回「大野ですくすく子育て応援パッケージ」として子育て施策をまとめられたが、その経緯と内容について尋ねる。</p>
		<p><b>2 第六次大野市総合計画について</b></p> <p>○ このほど、大野市総合計画策定審議会から計画期間を10年とするなどの中間報告があったが、その内容と報告を受けられた市長の第六次大野市総合計画策定に係る思いを尋ねる。</p>
		<p><b>3 福祉関係の計画策定について</b></p> <p>○ 令和2年度に「大野市地域福祉計画」「大野市障害者計画」「越前おおの高齢者福祉計画」と、これらの関連計画を策定予定とのことだが、計画策定に当たり、少子化、高齢化、人口減少が進む中において、今後の大野市の福祉行政に対する市長の考えを尋ねる。</p>
		<p><b>4 農業行政について</b></p> <p>○ 大野市の農業を取り巻く環境は、従事者の高齢化、後継者不足に悩まされている。さらに、国の直接支払交付金廃止や令和2年4月1日に県内10JAが一斉合併する予定など、大野市の農業を取り巻く情勢が変化する中、今後の農業行政についての市長の考えを尋ねる。</p>
		<p><b>5 防災対策について</b></p> <p>○ 大野市では、令和元年度から総合防災マップの改訂作業を進め、併せて防災に関する年度ごとの取り組みを示したロードマップを作製されたとのことだが、このロードマップに沿った今後の大野市の防災施策について尋ねる。</p>
<p><b>6 新型コロナウイルス感染症について</b></p> <p>○ 新型コロナウイルスによる感染者が隣の石川県でも確認され、福井県そして大野市でも感染者が出るのではと危惧している。大野市の今後の新型コロナウイルス感染症への対策について尋ねる。</p>		

質問者	質問方式	質問概要
川端（清風会）	一括質問・答弁方式	<p><b>7 企業誘致について</b></p>
		<p>○ 富田地区で工事が進められている産業団地については、造成が完了した南側から分譲を開始することだが、大野市の企業誘致活動の現状と今後の方針について尋ねる。</p>
		<p><b>8 小中学校の再編について</b></p>
		<p>○ 大野市の小中学校再編については、令和元年度に「結の故郷教育シンポジウム」や「教育環境に関する意見交換会」を開催し、令和2年度には検討委員会を設置して、令和2年度末を目途に再編計画（案）を作成すると聞いているが、現在の市長の小中学校再編についての思いを尋ねる。</p>
		<p><b>9 国勢調査について</b></p>
		<p>○ 令和2年10月1日を基準日として5年ぶりに国勢調査が実施される。昨今、全国的には、調査に非協力的な人の増加やマンション住まいなどでなかなか調査員の方々が面接できないなど課題もあるようだが、今回の国勢調査に臨むに当たり、市長の考えを尋ねる。</p>

質問者	質問方式	質問概要
廣瀬（新風会・公明）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 令和2年度実施予定の小中学生に対する新たな取り組み等について</b></p> <p>今定例会に上程された令和元年度補正予算と令和2年度当初予算において、小中学生に対する新たな取り組みや臨時的なものが多く計上されている。そのうち以下のものについて詳しい説明を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ GIGAスクール構想の実現に向けたコンピューターの整備について</li> <li>○ 小中学校再編計画検討委員会（仮称）の設置及び開催について</li> <li>○ 乾側小学校の児童が旧蔵生小学校へ通うスクールバス等の経費について</li> <li>○ 小中学校の特別教室へのエアコンの設置について</li> <li>○ 夏休み期間中の小中学生に対する学習支援について</li> <li>○ みこしダンスパフォーマンス、ふるさと学習交流会の廃止について</li> <li>○ 第3子以降の給食費の助成（小中とも）について</li> <li>○ 20歳までの医療費の自己負担分を助成することについて</li> <li>○ 1歳から中学3年生までのインフルエンザ予防接種費用の助成について</li> </ul>
		<p><b>2 道の駅「越前おおの 荒島の郷」について</b></p> <p>道の駅「越前おおの 荒島の郷」については令和3年度早期の開駅を目指し、当初予算においても多くの予算が計上されている。そこで、以下の3点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和3年度早期の開駅に向け、工事の進捗（しんちよく）状況はどうなっているか。</li> <li>○ 開駅に向けてモンベルとは、どのような準備を進めていくのか。</li> <li>○ 開駅に向けて産直の会とは、どのような準備を進めていくのか。</li> </ul>

質問者	質問方式	質問概要
伊東（新風会・公明）	一問一答方式	<p><b>1 公民館活動の活性化について</b></p> <p>当市の公民館活動においては、特色ある講座や地域課題への取り組みなど、地域の各種団体との連携が図れる仕組みづくりが行われている。しかし近年、人口減少・少子高齢化を背景にさまざまな課題も見受けられる。そこで、第六次大野市総合計画の策定に当たり、現状と課題を精査し、地域に密着した独自の公民館活動を維持するとともに、その活動を活発にしていくために今後どのようにすべきか、3点質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第六次大野市総合計画策定に当たり、基本構想において公民館の位置付けをどう考えているのか。</li> <li>○ 地域の拠点となる公民館に今後さらにコミュニティー機能を持たせていくために、地元住民などによる地域と行政とを結ぶコーディネーターを設置してはどうか。</li> <li>○ 今後、公民館が地域のコミュニティーや介護予防拠点となっていくことから幅広い視野を持つことが求められる。また、その活動を支える各種団体やボランティアが自由に集える環境づくりも重要と考えるが、これらについて当市の所見を伺いたい。</li> </ul>
		<p><b>2 不登校への対応について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 不登校の児童・生徒とその保護者の思いや、将来に対する不安などを把握する必要性があると考えますが、実態調査は行われているのか。</li> <li>○ 不登校が長期化するのを防ぐために、どのような支援をしているのか。</li> <li>○ 不登校の児童や生徒の卒業後は、どのような支援をしているのか。</li> <li>○ 不登校の未然防止という課題に向けて、来年度はどのように取り組んでいくのか。</li> </ul>

質問者	質問方式	質問概要
松本（新風会・公明）	一問一答方式	<p><b>1 除雪を支える体制について</b></p> <p>2019年に米オレゴン州立大の研究者が世界1万人の科学者の氏名と共に、生態学の専門誌に「気候の緊急事態」宣言を発表した。大野市でも2年間、記録的な暖冬・雪不足が続き、市民生活に多大な影響が出ている。こういった状況の中、建設業者の中にも除雪作業に伴う収入が減少することに困惑している現状が見受けられる。そこで伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ この暖冬が与える建設業界への影響の実情をどのように把握しているのか。</li> <li>○ その影響をサポートするために、本市はどのような施策を実施しているのか。</li> </ul> <p><b>2 観光振興について</b></p> <p>福井県において複数の市町が連携した周遊・滞在型観光を推進することにより、北陸新幹線・敦賀駅開業や中部縦貫自動車道県内全線開通に向け、さらなる誘客拡大、地域の活性化を図る検討がされている。本市においても中部縦貫自動車道県内全線開通等を百年に一度のチャンスと捉え、さまざまな施策を進めてきている。それらについて、以下の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本市では北陸新幹線・敦賀駅開業に向け、観光戦略をどのように考えているのか。越美北線の利活用を含めた観光戦略を伺う。</li> <li>○ 中部縦貫自動車道全線開通に向け、沿線各自治体と連携した観光戦略を本市では、どのように進めていくのか。</li> <li>○ 和泉地区の観光資源を生かす上で二次交通の果たす役割が大きいと思うが、本市での取り組みについて伺う。</li> </ul>

一般質問事項一覧

3月10日（火）

質問者	質問方式	質問概要
高岡（双葉会）	一問一答方式	<p><b>1 市長の政治姿勢について</b></p>
		<p>○ 令和2年度当初予算のどのようなところに行財政改革が反映されているか、市長の基本概念と市長が考えるまちづくり推進計画を尋ねる。</p>
		<p><b>2 教育長の政治姿勢について</b></p>
		<p>○ 教育長自身が考える学校再編についての考えを尋ねる。                      ○ 学業再編計画についても教育長に理念を尋ねる。                      ○ 管内の学校におけるクラブ等の活動現状を尋ねる。                      ○ コロナウイルス対策についての対応はどうだったのか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
松田（未来おおの）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 第六次大野市総合計画 基本構想（素案）の中間報告について</b></p> <p>令和3年度からの第六次大野市総合計画に向けて、その計画の策定作業に入り基本構想策定の重要な時期に差し掛かっている。第五次総合計画や人口ビジョンと総合戦略を含めたこれまでの成果を的確に評価分析して、将来を見据えた総合計画にしていかなければならない。われわれ議会も積極的に考えて、協働しながら進める必要がある。今回その基本構想素案の中間報告がなされたので「大野市一丁目一番地」の基本構想に関連する質問をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 変化の激しい時代に次期大野市総合戦略（人口ビジョンを含む）を一年遅らせて、令和3年度からの第六次大野市総合計画に合わせたのはなぜか。またKPI目標値の変更はどのような考え方でなされたのか。</li> <li>○ 第五次大野市総合計画と大野市総合戦略の検証と評価について、およそどのように考えているのか。</li> <li>○ 第六次大野市総合計画 基本構想（案）の中で、将来像「人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち」を実現していくための基本方針や基本理念はつくりたいのか。</li> <li>○ 大野市10年ビジョンをつくって、未来の夢を市民と共有し、実現のためにわくわくしながら共に歩いていくことができたかと考えるが、その考えがあるのか。</li> <li>○ これまでの行財政改革の成果と課題は何か、その概要について質問する。また、これからの財政の10年計画は考えているのか。</li> </ul>

質問者	質問方式	質問概要
木戸屋（未来おのおの）	一問一答方式	<p><b>1 新型コロナウイルス感染症への対策について</b></p> <p>全国的、世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルスについては、まだまだ未知な部分が多く、感染に関する情勢は日々刻々と変化しているところである。国の施策がまだ明らかになっていない中であるが、市として、新型コロナウイルス感染による影響について、現状把握・分析をし、対応策を検討し、今後の起こりうることを想定して準備をしておくことは、危機管理として非常に大切である。その視点に立ち、市内の以下の分野について、新型コロナウイルス感染症に関係する、現状把握と分析、対応策、現在できる準備について、市としてどのように取り組んでいるのか質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市行政全体として</li> <li>2 産業に関して</li> <li>3 医療に関して</li> <li>4 高齢者福祉に関して</li> <li>5 教育・保育に関して</li> <li>6 各種イベントに関して</li> </ol>
		<p><b>2 学校再編計画の見直しについて</b></p> <p>第417回大野市議会定例会教育長所信説明の中で、新年度は検討委員会を設置し、慎重に丁寧に検討を行い、令和2年度末をめどに再編計画（案）を作成するとの話があった。そこで、以下の点について質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 検討委員会委員の構成メンバー、人数、選出方法は、どのようにするのか。</li> <li>2 検討委員会では、何を検討するのか。</li> <li>3 令和2年度の再編計画（案）の作成までの取り組みとスケジュールは、どのようにするのか。</li> </ol>

質問者	質問方式	質問概要
永田（清風会）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 高速交通アクションプログラムについて</b></p> <p>北陸新幹線の敦賀延伸、中部縦貫自動車道の県内全線開通を百年に一度のチャンスと捉え、大野市が取り組むべき事柄について作成された「大野市高速交通アクションプログラム」について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 高速交通アクションプログラムを一年運用して見えてきた課題について伺う。</li> <li>2 新規事業の回遊性強化事業とはどのようなものか。また恐竜博物館の増築による交流人口の取り込みなど、戦略的な観光の推進について伺う。</li> <li>3 福井県並行在来線準備会社設立におけるJR越美北線への影響と福井市の中核市移行に伴う広域バスの運行に係る影響について伺う。</li> </ol>
		<p><b>2 自治会の維持について</b></p> <p>人口減少・少子高齢化社会が進む中、働く世代の就業形態が多様化することもあり、町内や集落単位の自治活動の低下と区の役員の成り手不足や、公民館単位の各種団体の行事への参加者の減少が見られる。市長の所信での「地域コミュニティーの強化に向けた取り組み」などについて伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各区の自治活動の低下が顕著になり、地域を支える共助（地域コミュニティー）の崩壊につながりかねないと思われるが、所見を伺う。</li> <li>2 市の事務嘱託員としての区長の職務が多岐にわたり、その負担が大きく、各種団体等組織の統合や廃止などを含め見直す時期にあると思われるが、所見を伺う。</li> </ol>
		<p><b>3 雪不足と暖冬への対応について</b></p> <p>特別豪雪地帯の指定を受けている本市においても、今冬は観測史上初めてとなる、ほとんど積雪のない状況となっている。暖冬による中小企業への影響を把握し、切れ目のない工事発注を行うなどとしているが、インフラ整備等について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 国道・県道を含め橋りょう等の劣化に伴う調査を踏まえ、それぞれ道路管理者の県に要望するなど、改修工事等の前倒しができないか伺う。</li> <li>2 市長の提案説明の中で交通安全対策に係る工事についてとあるが、どのようなものか伺う。</li> </ol>

質問者	質問方式	質問概要
廣田（清風会）	一問一答方式	<p><b>1 第2期大野市子ども・子育て支援事業計画について</b></p> <p>新年度から、第2期大野市子ども・子育て支援事業計画に基づき、全ての子どもが健やかに育ち、保護者が喜びを感じながら安心して子育てができるまちを目指し、さまざまな政策を展開していくとされている。 本計画について下記の点を聞きたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本計画の策定に伴い、本市の少子化に対する課題と政策について聞きたい。</li> <li>2 本計画の策定に当たり、出生数や婚姻率の推移や傾向を検討されたのか。</li> <li>3 本計画の策定に当たり、性別、年齢別人口動態の推移や傾向を検討されたのか。</li> </ol>
		<p><b>2 今後の農業政策について</b></p> <p>暖冬による影響でムギの生育や、昨年発生したサトイモの病害や害虫の多発、露地野菜の市場単価の下落など、本年の農産物栽培における不安は多々あるが、下記の政策面について聞きたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人・農地プランの見直しで、本市が目指す大野型農業とは。</li> <li>2 4月1日より県下10JAが合併しJA福井県となるが、市町とJAの関係はどうか。</li> <li>3 多面的機能支払交付金の当市における現状と、生活用水の保全や鳥獣害対策などは交付対象となるのか。</li> </ol>

質問者	質問方式	質問概要
白 崎 （ 新 風 会 ・ 公 明 ）	一 問 一 答 方 式	<p><b>1 農業施策について</b></p> <p>○ 令和元年度6月定例会の一般質問で、害虫の発生が心配されるということであったが、その結果はどうであったか。</p> <p>○ 今年の冬は、昨シーズン以上に雪が降らない状況であったが、昨年以上に害虫の発生が危惧される中、農業に与える影響をどのように考え、どのように対策していくのか。</p> <p>○ 令和2年度当初予算にサトイモ生産緊急対策事業補助が計上されているが、どのような内容なのか。</p>
		<p><b>2 地域おこし協力隊について</b></p> <p>○ 補正予算で地域おこし協力隊事業5,989千円が減額となっている。途中退任が主な原因であると思われるが、途中退任の原因と追加募集の状況についてはどうなっているのか。</p> <p>○ 令和2年度当初予算に継続2人、新規4人の予算が計上されているが、募集の状況についてどのようになっているのか。</p> <p>○ 大野市として地域おこし協力隊をどのように位置付けているのか。</p> <p>○ 定住に向けて大野市として地域おこし協力隊にどのような支援をしているのか。</p>
		<p><b>3 損害保険ジャパン日本興亜株式会社とのSDGsに関する包括連携協定について</b></p> <p>○ 令和元年11月に連携協定を締結しており、連携事項を                      (1) SDGsの情報発信及び普及啓発に関すること                      (2) 健康経営に関すること                      (3) 事業承継に関すること                      (4) 災害対策に関すること                      (5) その他、地域活性化に関すること                      としているが、締結後のそれぞれの事項の進捗（しんちよく）状況は、どうであったか。</p> <p>○ 令和2年度以降、BCP策定セミナーを開催するとあったが、いつごろ開催予定か。また、どのようなリスクに備えた計画策定を予定しているのか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
林 (新風会・公明)	一括質問・答弁方式	<p><b>1 働く女性の視点に立った子ども・子育て支援について</b></p> <p>「子どもがイキイキ 笑顔で子育て 結のまち」を基本理念とし、令和2年度から第2期大野市子ども・子育て支援事業計画に基づく取り組みがスタートする。子ども・子育て会議でしっかり議論され、現在、3月16日までを募集期間として、市民からの意見募集も行われている。</p> <p>日本全体で止まらない少子化に対しては、女性活躍や労働力確保の観点も重要だが、何より希望する子どもを持てる観点で考え、必要に応じて社会構造の変革も受け入れていく覚悟がなければ、人口減少は止まらず、決して持続可能とは言えないと感じている。</p> <p>第2期事業計画のスタートに併せて「大野ですくすく子育て応援パッケージ」が示された。限られた財源、厳しい財政状況の中で工夫された点は評価するが、子育て世代が安心して子育てするには、働く女性の視点に立った施策の連携と展開により、将来に対する不安を丁寧に取り除くことが求められる。大野市に住む子育て世代や地域の人、施策を展開する市職員並びに関係機関が一体となり、サービス提供を通じた満足度を高めていくことで、働きながら子育てする世代の市外からの移住増につなげていくべき。</p> <p>このパッケージにより、大野市の子ども・子育て支援が浸透していくことが重要であると考え、次の3点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和2年度予算における子育て支援の現場を支える正職員・会計年度任用職員・委託の人数と、直営・委託の金額はどの程度となっているのか。また令和2年度に改訂予定の大野市職員定員適正化計画並びに大野市男女共同参画プランへの反映はどう考えているのか伺う。</li> <li>○ 特に大野市で少なくなっている20歳から39歳までの女性に魅力を感じてもらい、結婚・子育てに夢を持ってもらうため、このパッケージにおける、この年代に重点を置いた施策はどれだけ入っているのか。また関心の高い小中学校再編計画をパッケージにどのように位置付けるのか伺う。</li> <li>○ 働きながら子育てできる環境整備に向けた全庁的な取り組みを進める中で「小1の壁」を乗り越えるため、放課後の居場所づくりとして放課後児童クラブと放課後子ども教室があるが、登録者数の現状と今後の見込みはどうなっているのか。また対象者や基準の違い、それぞれの課題をどう捉えているのか伺う。</li> </ul>

質問者	質問方式	質問概要
野村 (日本共産党大野市議団)	一括質問・答弁方式	<b>1 新型コロナウイルス感染症対策について</b>
		① 市役所・学校をはじめとする公的施設の消毒など感染予防対策は ② 臨時教員への対応は (休業になるのか・賃金の補償は) ③ スクールバス運行取りやめに対する保護者への負担は
		<b>2 小中学生への子育て支援について</b>
		① 学校給食費の第2子を半額とすることについて ② 要保護・準要保護児童生徒就学援助 (PTA会費・クラブ活動費・生徒会費を支給することについて)
		<b>3 国民健康保険について</b>
		① 資格証明書発行について ② 国民健康保険税引き下げについて

質問者	質問方式	質問概要
ダニエル（無党派）	一問一答方式	<p><b>1 費用対効果が悪いまちなか循環バスについて</b></p> <p>大野市のまちなか循環バスの平均乗客数は1日20人程度である。バスの本数が少なく、走行ルートも柔軟性に欠けるため、今後も利用客が増えないと思われる。市内路線バスの運行経費に年間約6,500万円（月約540万円）掛かっているようだが、これは費用対効果が悪いのではないか。あわら市は市内路線バスを廃止し、登録制の「乗り合いタクシー」を始めたようだが、バスを運行していたときに比べ、コストは半減し、多くの人が利用しているようである。まちなか循環バスは現在のまちなか循環バスにそぐわないため廃止し、乗り合いタクシーの導入を検討してみてもどうか。</p>
		<p><b>2 介護施設等での不適切な不在者投票を防ぐために</b></p> <p>新聞報道によると、昨年の知事選において大野市のある介護施設の理事長が逮捕され、その第一審が福井地裁で行われた。福井新聞の記事によると今月26日に判決が下される予定だが、大野市選挙管理委員会は今回の事件からどのような教訓を学び、今後再発防止に努めていくのか。</p> <p>そして県選管の要請に基づき、今後介護施設での不在者投票に立会人を置くよう指導する予定か伺いたい。</p> <p>また、2月28日付の福井新聞の記事より、中央大学の新井教授によると、高齢者施設の管理者が、不在者投票の管理者を務める現行制度にも疑問を呈し「施設に都合のいい候補者がいるなどの問題がある。施設での不在者投票の是非の議論が必要だ」と話しているようだが、この指摘に対し市選管はどのような考えを持っているか。</p> <p>今回の事件を受け、介護福祉施設での投票に対する市民の信頼が大きく揺らいだと考える。市選管は投票の信頼を回復し、公平・公正さを担保するためにどうすべきと考えているか伺いたい。</p>

質問者	質問方式	質問概要
榮 (日本共産党大野市議団)	一括質問・答弁方式	<b>1 「小中学校再編計画」について</b>
		○ 乾側小学校に関する方針の決定について、何を決定するのか。
		<b>2 公共施設の再編について</b>
		○ 学校施設についての再編計画の位置付けはどのようになるのか。
		<b>3 「人・農地プラン」について</b>
○ 「国際家族農業年」との整合性について伺う。		